

134年の「日本を学ぶ」伝統が、 次世代型グローバルマインドを育む

國學院大學

Kokugakuin University

日本の私立大学として、 最も長い歴史を誇る伝統校

「日本のトラディショナルな文化も、最先端の文化も、國學院大學であればすべて吸収できると直感したのです」。そう語るカナダ出身の男子留学生は、顔をほころばせた。

世界中からたくさんの人々が訪れ、日本のグローバル化を象徴する街、渋谷。その中心部から歩くと、ほどなくして閑静な地区となり、國學院大學・渋谷キャンパスのモダンな18階建て校舎、若木タワーが姿を現す。同学は日本の私立大学として、最も長い歴史をもつ大学のひとつである。学内に併設する國學院大學博物館には、考古遺跡の出土品や、古来の祭礼を彩ってきた神宝・装束など、国の重要文化財を含む学術資料が

重厚な展示空間に並ぶ。さらに古事記(梵舜本)や源氏物語(久我本)をはじめとする貴重本等150万冊以上の蔵書数を誇る大学図書館は、人文科学系における国内屈指の図書館として名高い存在だ。これら優れた研究活動による膨大な成果物は、同学に綿々と受け継がれてきた伝統を物語る「端」といえるだろう。

グローバル時代だからこそ、 不可欠な「日本を学ぶ」教育

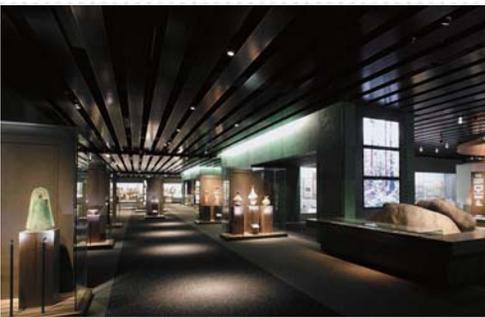
國學院大學の母体となった「皇典講究所」は、「国学」の教育・研究・理念の発展を目的に、1882(明治15)年に創立した。近代国家の建設に向けて、日本が初めてグローバル化の荒波に直面した激動の時代。そのような只中であって同学が掲げたの

は「自らのことを知らずして、西文明の価値を見極めることはできない」という強い想いだった。

それから134年を経て、なお、國學院大學は「日本を学ぶ」教育を一貫して実践してきた。そして日本が再びグローバル化の渦中にある今、「日本を学ぶ」ことが、語学の習得以上に重要度を増している。なぜならば、自文化である日本の文化・歴史を深く理解し、国内外に発信できる力は、まさに異文化コミュニケーションと直結し、来たるべきグローバル時代に本当に求められているのだ。

体感する『國學院科目』で 雅楽も、礼法も習得する

伝統校だからこそ、國學院大學は時代に即した改革に貪欲なまでに



(左上) 国の重要文化財をはじめとする数々の学術資料を収蔵する「國學院大學博物館」。さらに150万冊以上の蔵書数を誇る大学図書館は、人文科学研究における国内屈指の図書館として知られている。
(右上) 2015年には渋谷キャンパス1号館に54畳敷の「和室教室」が誕生した。この教室では「國學院科目」を中心に開講している。
(左下) 平安貴族の月見の集いを再現した秋の「観月祭」は國學院大學の恒例行事のひとつ。神道文化学部の学生を中心に雅楽や舞を披露。地域住民や近隣の各国駐日大使館員らも訪れ、毎年多くの人で賑わう。

“日本を学ぶ”「国学」を名に冠する大学として、134年にわたりその教育を実践してきた國學院大學。日本のグローバル化が加速する今、同学では先鋭的な改革のもと、開学以来取り組んできた学びが、さらなる深化をみせる。

取材・文/酒井 撰

**2015年3月卒業生
主な就職実績**

●就職率 94.0%
就職者数 1693名

●民間企業

大成建設 / 関電工 / 積水ハウス
静岡朝日テレビ / 秋田朝日放送
サッポロビール / キュービー / 伊藤園
トヨタ自動車 / 本田技研工業 / 三菱重工業
丸紅 / 三越伊勢丹 / 高島屋 / そごう・西武
みずほフィナンシャルグループ
三菱東京UFJ銀行 / 大和証券
日本生命保険 / 日本航空 / 全日本空輸
東日本旅客鉄道 / JTBコーポレートセールス
東京ガス / 富士急行
ホテルオークラ東京 / 星野リゾート など

●官公庁

東京国税局 / 東京税関 / 神奈川県庁
群馬県庁 / 渋谷区役所 / 世田谷区役所
品川区役所 / 警視庁 / 東京消防庁 など

●教員就職者数 163名

公立・私立の小学校、中学、高等学校
(内訳：文学部63名、法学部8名、
神道文化学部2名、人間開発学部90名)

●『國學院科目』を構成する4つのカテゴリー



日本の基層文化

神道を中核とする日本の伝統文化や精神、そして歴史への理解を深めることを目的としています。

■平成27年度 新規開講科目：「日本の山と精神文化」

國學院の学問

國學院大學が培ってきた学問的な伝統や、現在大学で行われている学際的な研究の成果について、学生が直接学べる分野です。

■平成27年度 新規開講科目：「國學院大學の歴史と未来」「共存学」

和の心・技・体

日本の文化的伝統について深く理解するとともに、そこに見られる精神と、代表的な伝統文化・芸能を、体験を織り交ぜて学ぶことを目的としています。

■平成27年度 新規開講科目：「茶道入門」「将棋と日本文化」「礼法」

ことのはの文化

國學院大學の134年にわたる伝統を継承し、古典を基礎とした国語能力を磨きます。「ことば」や「書」を通じて豊かな表現力の習得をめざします。

■平成27年度 新規開講科目：「和歌を学ぶ」

取り組む。現在も「伝統と創造の調和」「個性と共生の調和」「地域性と国際性の調和」という「3つの慮(おもい)」を掲げ、教育・研究・人材育成・施設設備の5分野を中心に、さまざまな大学改革が進行中だ。ここで特に注目を集めるのが、2014年にスタートしたふたつの新カリキュラムである。

まず『國學院科目』では、日本の伝統文化・芸能の、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルを講師に、書道や茶道、将棋、礼法等の「本物」の日本文化にふれ、知識と教養を深めていく。例えば伝統音楽・雅楽がテーマの「雅楽入門」では、独特の記号で表された楽譜の読み方に始まり、実際に筆策(ひちりき)や笙(しよう)を使つての演奏まで、じっくりと学ぶ。加えて2015年春には『國學院科目』を中心に開講するための和室教室を新設。和の所作や身のこなしを本格的に体験できる授業とあつて、学生からの人気も高い。

白熱の「Japan Studies」

また、各国からの留学生らと共に「英語で」日本文化を学ぶのが、『Japan Studies』である。日本の文化や歴史、社会問題などをテーマに

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。神道の研究・教育機関「皇典講究所」を母体とし、日本人が拠って立つ基礎を研究・確立することを目的に開学した。大学令により、1920(大正9)年に大学に昇格。私立大学として最初に認可された8大学の内のひとつである。現在は、文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部の5学部を擁し、渋谷キャンパスのほか、人間開発学部の学生が学ぶ横浜たまプラーザキャンパスがある。

●DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0141 (入学課)
URL <http://www.kokugakuin.ac.jp/>

でイスカッションやプレゼンテーションを交えた白熱の授業を展開する。留学生はもとより、日本で生まれ育つた学生たちにとっては、「外から見ただ日本」という新たな気づきを得る刺激的な機会になっているという。

日本を知るとは、自らのバックグラウンドを知り、己を知ること。これらの過程を経て異文化を受け入れ、多様な価値観と交流できるメインドが着実に育まれていくのである。

もつと日本を。もつと世界へ。

内外に発信する人材への成長

こうして國學院大學で学び、羽ばたいた卒業生からは、グローバル企業

で日本発のキャリアクターの世界展開を手掛けるビジネスパーソンや、海外からの要人に日本文化を紹介する事業企画担当者など、内外への広い視野をもち、日本と世界の懸け橋となる人材を数多く輩出している。

また、教育の現場で発信する卒業生が多いことも「教職の國學院」ならではの。彼らの活躍は、國學院ブランドの大きな証となっている。

だが、先鋭的な改革の一方で、変わらぬ國學院大學らしさもある。それが國學院生なら誰もが感じている教員と学生との一体感、学生ファーストの学風にほかならない。こうした教員たちの熱意により進む改革に、期待はより一層、高まるばかりだ。